

※最新版は、

https://www.nise.go.jp/nc/report_material/research_results_publications/leaf_series
から直接ダウンロードできます。



特別支援教育リーフ Vol.27

デフリンピックから学ぶ
きこえない・きこえにくい人が
安心して楽しめるスポーツの工夫



視覚的な工夫は、きこえない・きこえにくい子供が安心して楽しくスポーツに参加できることにつながります

デフリンピックでは、きこえない・きこえにくい選手が安心して競技に取り組めるよう、視覚情報が多数取り入れられています。これらの工夫は、学校での体育を中心とした活動や、地域のスポーツ活動でも生かすことができます。そして、きこえない・きこえにくい子供だけではなく、多くの子供が安心して楽しく参加できるためのヒントになります。

◆視覚情報は、きこえない・きこえにくい子供が安心してスポーツを楽しめるための有効な手立てになります。

◆デフリンピックに関心を持ち、実際に知ることにより、共生社会の推進となるヒントが得られます。



(過去のトルコ大会) 第23回夏季デフリンピック競技大会サムスン2017 写真引用：一般財団法人全日本ろうあ連盟 HP

デフリンピックってなあに？

デフリンピックは、きこえない・きこえにくいアスリートのための国際的なスポーツ大会です。1924年に始まり、世界中の国々から多くの選手が参加しています。オリンピックやパラリンピックと同様に、競技の質と公平性が重視されており、特に視覚情報による工夫が多く取り入れられている点が特徴です。このデフリンピックの東京大会

(2025年11月)は初の日本開催です。このリーフレットでは、デフリンピックで実際に使われているさまざまな支援機器や工夫を紹介し、きこえない・きこえにくい子供たちが学校の体育やスポーツ活動に支障なく、安心して楽しく参加できるためのヒントをお伝えします。右のエンブレムは、東京2025デフリンピックの大会エンブレムです。これは、みえない・みえにくい、きこえない・きこえにくい学生のための大学である筑波技術大学の学生がデザインしたものです。



TOKYO 2025
25TH SUMMER DEAFLYMPICS

東京2025デフリンピック
大会エンブレム

きこえない・きこえにくい人のスポーツ競技の工夫

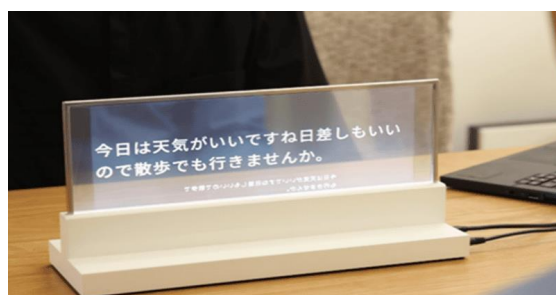
○フラッシュランプ

陸上競技や水泳など、スタートのタイミングが重要な競技では、スタートの際に「フラッシュランプ」が使われます。視覚情報で合図することにより、音がきこえない・きこえにくい選手も公平に競技を開始できます。デフリンピックではフラッグとともにフラッシュランプがよく使われます。（イラスト引用：広報 東京都 こども版）



○音声文字化技術

デフリンピックの会場では音声を文字に変換するアプリやシステムも活躍しそうです。開会式・閉会式での音声によるアナウンス、選手紹介やルールの説明、会場案内や緊急放送での情報保障、ボランティアやスタッフとのコミュニケーションなど、様々な場で音声文字化技術を活用することによって、大会がスムーズに行われることが期待されます。



透明ディスプレイ
提供 株式会社ジャパンディスプレイ

○アイコンタクト

競技中にきこえる人は「こっち！」「パス！」と声のやり取りによってコミュニケーションを取りますが、きこえない・きこえにくい人は音声ではなく、手話や表情、アイコンタクトでコミュニケーションを取ります。例えばパスする人は「パスいくよ！」ということを目で伝えます。パスを受ける側の人もよく仲間の目を見てそのコミュニケーションを敏感にキャッチしなければなりません。みなさんも、言葉だけではなく、このようにアイコンタクトで人に何かを伝えている場面があるのではないのでしょうか。



学校や地域でも活かせる工夫

ここで紹介した工夫は、きこえない・きこえにくい子供に限らず、多くの子供が安心して楽しく参加できるためのヒントです。視覚情報を活用する工夫は、学校の体育、運動会や地域のスポーツ活動でも応用できます。また、スポーツに限らず音声を文字変換するアプリ等は有効です。先生やクラスの仲間がこうした配慮を理解し、一緒に工夫していくことが、すべての子供が安心して楽しく参加できる学びへの第一歩になり、共生社会の推進となるヒントが得られます。

☆さらなる理解のために☆

特別支援学校（聴覚障害）における部活動交流（合同練習）

全国には約100校の特別支援学校（聴覚障害）があります。校名は〇〇聾学校、△△聴覚特別支援学校等様々です。

特別支援学校（聴覚障害）の中学部や高等部では、部活動があります。運動部としては、陸上部、卓球部、バレーボール部、野球部等があります。それらの部活動においては、地域の中学校や高等学校と部活動交流をしている学校もあります。

生徒たちは、手話やジェスチャーや筆談を用い、工夫しながらコミュニケーションをとっています。大事なことの一つに、“表情”があります。表情によって、「こっちにパスがくる」「勢いのあるボールが来そう」など、スポーツを行う上での情報を伝えることができます。こうした交流は、学校の授業以外での交流及び共同学習の大切な場になっています。

<参考情報>

〇一般財団法人全日本ろうあ連盟 スポーツ委員会 デフリンピックHP

トップページに、デフリンピックがわかりやすく紹介されている5分ほどの動画が掲載されています。小学校高学年以上の児童生徒に活用しやすい内容です。

リーフ本文中にも記載した陸上のスタート時のフラッシュランプも動画で紹介されています。



〇一般財団法人全日本ろうあ連盟 デフリンピック運営委員会・公益財団法人 東京都スポーツ文化事業団 デフリンピック準備運営本部「東京 2025 デフリンピック 大会サイト」HP

東京 2025 デフリンピックの概要が紹介されています。特に東京大会で行われるスポーツ競技が写真入りで紹介されています。

大会開催時には、競技のスケジュールや競技結果が掲載され、選手の活躍を確認することができます。



〇スポーツ庁 Web 広報マガジンHP「東京 2025 デフリンピック ～無音の世界で活躍するデフアスリートの世界大会を応援！～」

小学校低学年から活用できる、デフリンピックの様子がよくわかる4分程度の動画が掲載されています。



〇東京都スポーツ推進本部「ビジョン2025」「ビジョン2025 アクションブック」「ビジョン2025 アクションブック パージョンアップ」

東京 2025 世界陸上及び東京 2025 デフリンピックを通じて、東京都が目指す姿や、その実現に向けた取組の内容などをまとめたものです。共生社会の実現に向けた取組などが掲載されています。

※本号発行にあたり、全日本ろうあ連盟、東京都スポーツ推進本部に多大なる御協力をいただきましたことを御礼申し上げます。

